

みあさづくり



再開 メンドシーノ交流事業 会再

交流事業 🇺🇸🇯🇵 31周年

新型コロナ禍で3年間途絶えていたカリフォルニア州メンドシーノとの相互訪問交流が再開しました。今回は、これまで訪問できなかった7、8、9年生の27名と引率者12名（団長：矢花副市長）での訪問団となりました。メンドシーノ側では、22家族でホームステイのホストを受けていただきました。訪問日程は、1日目歓迎会、2日目市内見学、3日目ホストとのフリーティ、4日目ハイスクール見学や町での買い物、5日目K8スクール訪問・お別れパーティ、6日目サンフランシスコ見学などでした。多くのメンドシーノ皆様のホスピタリティ（おもてな

し）を感じる交流で、子どもたちは貴重な体験ができ、成長したと思います。

（ボランティアネットワーク

代表前川浩一）



※交流事業の様子は、次号で特集します。

QRコードを読んでパソコンやスマホでもご覧ください。

ホームページ
美麻Wiki



facebook



令和5年度 美麻地域づくり会議総会開催



美麻公民館講堂において4月20日(木)に総会を開催し、下記事項について承認、議決がされました。

【令和4年度事業報告(報告第1号)】

- 地域の情報発信(広報誌発行、HPの運営)
- よっとくれフェア・美麻市の開催
- 先進地視察研修
 - ・有害鳥獣駆除鹿皮の活用(千曲市、長野市)
 - ・花豆特産品開発、道の駅活性化(新潟市、三条市)
- 小さな拠点づくり講演会
- 移住・定住サポートアンバサダーの募集(新規)
- 美麻地区有害鳥獣追払い隊結成(新規)等

【令和4年度決算報告(報告第2号)】

1. 地域情報発信事業	520,267円
2. 地域づくり調査研究事業	123,640円
3. 交流促進事業	240,538円
4. 地域環境整備事業	96,450円
5. 小さな拠点部会事業	
(1) 運営組織の準備事業	310,528円
(2) 移住・定住促進事業	104,029円
(3) 特産品の研究開発事業	595,301円
6. 地域づくり活動促進事業	406,173円
7. 一般管理費	7,213円
決算額	2,404,139円

【令和5年度事業計画・予算(議案第1号・2号)】

- 広報部会事業： 広報誌(年6回程 448,000円
度)コミュニティカレンダー発行、
地域の情報発信等
- 事業部会事業： 道の駅活性化、 240,000円
空き家対策、やまびこまつり参加、
有害鳥獣被害低減活動等
- 小さな拠点事業： 移住・定住の促 932,000円
進活動、たすかる美麻移動支援、
特産品の振興
※(一社)地域づくり美麻との連携して進める事業

○ 地域づくり活動促進事業： 会員活動への支援、 コミュニティ・スクール活動への参加・協力。	370,000円
○ 一般管理費	5,000円
合計	1,995,000千円

【令和5年度役員構成(敬称略)】

- 会長 前川 浩一
- 副会長 (広報部会長) 大塚 裕明
(事業部会長) 北沢 孝一
(小さな拠点部会長) 小林 敏文
- 専門部副部会長
(広報副部会長) 高木 千枝
(事業副部会長) 渡辺 寛
(小さな拠点副部会長) 鈴木 幸
- 監事 横山 和夫
小林 薫

会員数：54(団体会員44、個人会員10人)

~~~~~ 会長あいさつ ~~~~~

昨年度に引き続き会長を拝命いたしました。一応コロナ感染症が落ち着いて、人の動きも活発化しており、地域づくり会議での活動や地域でのイベントもほぼ平常通りに開催されると思います。

また少子高齢化や農地荒廃、獣害などの課題も多く、地域づくり会議での活動は今後ますます重要となると思います。今後とも皆様のご協力よろしくお願ひいたします。(会長 前川浩一)



地域発元気づくり支援金に 地域づくり2事業が助成決定



「空き家再生・活用事業(元の関)」と、「たすかる美麻移動支援事業」の2事業が本年度の長野県地域発元気づくり支援金の対象事業に選定(申請主体：一般社団法人地域づくり美麻)されました。いずれも継続してきた地域課題解決の取り組みが認められたものです。

特に、空き家の再生活用事業は、地域ぐるみの空き家活用が補助対象となった先進的な取組として、その成果が期待されています。美麻地域づくり会議では、小さな拠点づくりに向けた事業として、一般社団法人と連携して事業を進めて行くこととなります。地域の皆様の参加と協力をお願いします。



アートパフォーマンス



足湯(枝木の湯)



花豆ソフトクリーム



鹿角アクセサリー(3月)



ファットウッド(天然着火剤)づくり



鹿革スマホケース(2月)

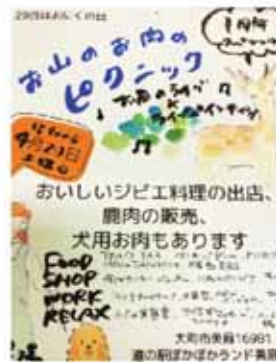
昨年4月から、毎月29日に道の駅で開催している定例イベント。おかげさまで1年間続けることができました。ありがとうございます。当日は、完成した美麻地区のキッチンカーが出店、ライブペインティング、マッサージの癒しコーナー、美麻ドッグブルースライブ、花まめアイス、カレー屋さん、うどん屋さん、木工クラフト、美麻の粘土で動物を作ろう、ペット用ジビエの販売、地域木材の販売など、近隣市町村からの出店もあり、来場された方々に楽しんでいただきました。

美麻地域づくり会議では、様々な地域課題の解決策を、みなさんに喜んでもらえる形で提案、実践しています。田舎の恵みを楽しみながら、少子高齢化、鳥獣被害、労働力不足等の課題をどの様に捉えてチャンスに転換するか、考え方は人それぞれですが、そんな思いをイベントを通じて、表現していければと考えています。安心して、楽しんで暮らせる美麻地区を一緒に作っていきましょう。

(事業部会副会長 渡辺 寛)



月替わりで開催される地域資源活用ワークショップ(木工)



お山の恵みである鹿肉を食べ、木材や鹿革に触れ、自分で作ったクラフトをお土産に、温泉サウナも楽しむ1日、お山のお肉のピクニック。

道の駅ほかほかランド美麻(美遊)のカフェ花まめやが、鹿肉の販売店として「小さな拠点づくりや、地域活性化にできることはないか?」と模索した昨年4月、ペット用鹿肉を販売している「いぬとのんびり(会員)」さんに相談して、このイベントを開催しました。以降、

大町市や白馬地域の飲食店の皆様に鹿肉料理を試作していただき、出店を募ったところ回を重ねる毎に「美麻のジビエ」を取扱う飲食店は5店舗に、木材販売やワークショップなどのレギュラー出店も10店にまで増加しました。

4月29日の一周年イベントでは、間伐材で沸かした足湯に入りながら、花豆アイスを食べるといった贅沢な催しや、美麻地区で起業された方々によるマッサージコーナーも充実、音楽ライブやライブペイントなどアーティストの参加もあり、盛況でした。

これからは、イベントの成長と共に、改善すべき課題や、地域資源の活用に一層のアイデアを出し合いながら、道の駅(美遊)がみんなの憩いの場になっていくとよいなあと考えています。

29日はなんだか美味しそう、楽しそう、そんな風になっていきますように。

(小さな拠点部会副会長 花まめや 鈴木 幸)

コミュニティ・スクールのお話

『わくわく いきいき なかよし遠足』



五月晴れの空の下、5月12日(金)に1、2年生のなかよし遠足が行われました。学校から出発し、親水公園を目指しました。親水公園に響き渡る子どもたちの元気な声。川の水は少し冷たかったようですが、地域の方や3、4年生の遠足ボランティアの方々に見守っていただく中、自然の中で力いっぱいお友だちと遊びました。「たくさんの生き物を捕まえたのが楽しかった。」「川のすべり台、おもしろかった。」と、子どもたちの感想からもうかがえるように、充実した一日になりました。

(文責: 1学年担任 太田美香)



太古のロマンを感じて

～県立歴史館・森將軍塚古墳に行ってきました～



6年生は5月12日に歴史学習の一環で、千曲市にある県立歴史館、森將軍塚古墳館、森將軍塚古墳の見学に行ってきました。長野県4万年の歴史や資料説明を、学芸員にいただき、実際の古墳の大きさに触れ、身体全体で子ども達は学んできました。見学会で学んだことを今後の歴史学習に活かしていきたいと思います。(文責: 6学年担任 藤巻 智哉)



美麻市民科始まる

5から9年生が参加し令和5年度的美麻市民科はじめの会を4月14日に行いました。6年生が昨年度の成果発表として、養豚を学んだことから発展したレシピづくりやPR活動などについて、実践から学んだことを発表しました。

先生からは、情報共有による授業での進め方について、地域連携コーディネーター前川より先輩方の取り組み事例を通じた学び方についての話がありました。その後各学年に分かれて、地域の多くのボランティアと共に取り組みたいテーマについて話あいました。それぞれの取り組みについては、

次号以降お伝えできるかと思えます。地域の皆様にはぜひ美麻市民科の学びに御協力いただきますようお願いいたします。



小さな拠点づくり

#たすかる美麻(移動支援事業)

4月の統一地方選挙で投票所に行く手段のない方の支援をしていただきたいと大町市選挙管理委員会からの依頼を受けて、4月8日(土)と4月22日(土)に「たすかる美麻選挙号」を運行しました。

これからも地域のみなさんのお役に立てるよう運行していきます。ご利用ください。



#有害鳥獣対策事業

電動ガンを使用して有害鳥獣(サル)を追払う「有害鳥獣追払い隊 美麻SWAT」を結成しました。3月24日に各自治会から推薦いただいた皆さんに委嘱書と装備一式を交付し、活動を開始しました。

追払い隊は、オレンジ色のキャップとベストで活動していますので、ご承知ください。



#地域メンテナンス事業

遊休荒廃農地を減少させ、集落の環境を良好に保つ取組みが字始まりました。昨年、所有者の承諾を得て開墾した畑で移住された皆さんが、地域の高齢者から指導をいただきながら野菜作りに挑戦しています。畑仕事や野菜作りに興味のある方は、活用できる畑がありますので、お問い合わせください。



#地域課題の解決

一般社団法人地域づくり美麻では、大町市教育委員会からの依頼を受けて、美麻小中学校の給食食材の運搬をさせていただくことになりました。初日となった本日は、引継ぎと研修を行いました。小さな拠点では、美麻地区に必要な事を住民が中心となって解決することで、暮らしやすい地域づくりを進めていきます。



#特産品の開発

○花豆ソフトクリーム完成

特産品の花豆を活用した新商品「花豆ソフトクリーム」が完成しました。現在、アイスクリームを製造いただいている開田村の開田高原アイスクリーム工房さんに依頼し、花豆の食感と風味を感じられるよう仕上げていただきました。当面は、ニクの日などのイベント時を中心に販売していきます。ぜひ御賞味ください。



○美麻の鹿革完成間近!

有害鳥獣対策で駆除され捨てられていた鹿皮を活用して美麻の鹿革を作る取組が具体化し、信州鹿革エンカルプロジェクトの皆さんの助言と協力を得て、革の加工を工場でお願いただける事となりました。1月に出荷した美麻産の鹿皮がようやく鹿革となって戻ってきます。

今後は、山の恵みである鹿皮を有効に活用できるように、予約販売を行う予定です。興味のある方はお問い合わせください。



工場で最終工程に入った美麻の鹿革

■お問合せ先 一般社団法人地域づくり美麻
mail: 1syamiasa@gmail.com

4年ぶりの開催決定！

2023

大町美麻自転車ロードレース大会

大町美麻ロードレース実行委員会では、「令和5年度大町美麻ロードレース大会」を9月3日(日)に4年ぶりに開催します。

今回は「文部科学大臣杯第78回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(インカレ=大学最高峰のスポーツの祭典)」として行われることになりました。全国から集まる選手達の熱戦が期待されます。

レース中は、**交通規制(時間を区切っての一方通行)が行われます。**コース周辺の皆様には、ご不便をおかけすることになりますが、ご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

【令和5年度コース図】



運営ボランティア募集

一般道を使用するロードレース大会は、多くの方の協力が必要です。美麻南部地区(大塩・二重・新行)の広範囲にわたる特設周回コース(1周13.4km)の交通整理などにご協力いただけるボランティアスタッフを募集します。

全国トップレベルの自転車ロードレースの醍醐味を間近で味わうことができる機会ともなりますので、多くの皆様のご協力をお願いいたします。

お申し込み
お問合せ先

お申し込みは8月4日(金)までに、大町美麻ロードレース実行委員会事務局(美麻支所産業建設係内)の窓口またはお電話(29-2311)にて、よろしくお願いいたします。

移住・定住希望者と地域を繋ぎます

毎年美麻への、多くの移住・定住相談が寄せられます。美麻地域づくり会議では、移住・定住を希望される方が事前に相談ができるよう、移住後も地域の皆さんと良好なコミュニケーションが取れるよう、3名の移住・定住アンバサダーを3月2日に委嘱しました。



安松さん



安松さん 前川会長 早川さん

アンバサダーの皆さんからのこれからの活動に向けた抱負をいただきました。

○ 齋藤 英毅さん (大塩)

美麻が好きで住んでいるので、何かお役に立てればと思いつき活動に参加しました。県外の方に美麻の魅力を伝えていきたいと思えます。

○ 安松 由佳さん (青具)

美麻はとても住みやすい所だと希望者に魅力を伝えていきたい。

○ 早川 安希子さん(青具)

自分が移住したときに欲しかった子育ての情報伝えていきたいです。

先進地視察研修先の提案募集

美麻地域づくり会議では、毎年先進的な活動により地域活性化を成功させている地域への視察研修を行っています。今年度の視察研修を計画するにあたり、会員の皆様より、視察先の提案を募集します。提案のある方は、別紙希望調査票に提案内容をご記入いただき6月9日(金)までに事務局へ提出してください。

提案いただいた内容を広報部会で検討し、研修場所を決定します。



■ 編集・発行

美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info